

【小学校の部 最優秀賞】

「いのちをありがとう」

奈良市立伏見小学校 2年 奥中 優貴

ぼくは、夏休みに、家ぞくで川あそびに行きました。魚をつって、家にもってかえりました。お母さんが、りょうりをしているのを、ぼくは見に行きました。お母さんは、

「ごめんね。ごめんね。」

と言って、生きてた魚をりょうりしてました。

ぼくは、

「かわいそうだな。」

と、見るのをやめました。

テーブルに、魚の天ぷらが出てきました。よく魚をたべてるけど、ぼくは、いつもとちがう気持ちでした。お父さんが、

「お魚だけじゃなくて、お米やおにく、やさいも生きてたんだよ。ありがとう。いただきます。」

と言いました。

ぼくも大きい声で、

「いただきます。」

と言いました。ほねまで全ぶ、たべました。

「とてもおいしかった。お魚さん、いのちをありがとう。」

とぼくは言いました。